

発行 熊本県労働者福祉協議会 発行者 河瀬和典 編集者 梅木一美 E-mail rofuku@lime.ocn.ne.jp
事務局 熊本市九品寺1丁目17-9 熊本県労働会館内 TEL 096-372-0915 FAX 096-372-0600
http://kumamoto.rofuku.net/

2006年度 県労協 研究集会

暮らしにかかるサポートセンターを地域に 労働者福祉中央協議会の笹森会長が講演

県労働者福祉協議会の「2006年度研究集会」が、11月25日、和数奇司館で開かれ、約120人が参加しました。

主催者を代表して赤塚副会長が「今年のノーベル平和賞をバングラディッシュの銀行総裁であるムハマド氏が受賞した。氏は貧しい人々に無担保融資をおこない生活の平和に貢献した。特に女性の自立支援に力を入れた。労協として私たちはなにをしてきたのか、疑問と反省を感じている。今日の研究集会に学んで今後の運動につなげてほしい」とあいさつしました。

今回の研究集会は中央労協の笹森清会長を招き「労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史」と題して、講演を聴講しました。

笹森会長は、終戦直後の米占領軍の

5大民主化政策から、今日までの労働運動の歴史をわかりやすく説明しながら、近年の動き、これからの方向性について提起しました。

NPO団体との連携を

■アメリカは1993年から日本に対して規制緩和、民営化、自由化を求めており、それにこたえたのが小泉、竹中のコンビによる構造改革だ。結果、一億総中流といわれた国民の暮らしを完全にぶっ壊し、不安をもたらしている。

■少子高齢社会となっているが、団塊世代の大量退職時代を迎えている今、長生きに対応できる社会づくりが求められている。働き方や暮らし方を変えていくことが必要となっている。

■社会運動である①農民運動、②市民運動、③学生運動、④労働運動が低下している。

■生活協同組合法にもとづき労金や全労済などがつくられた。これは働く人たちが必要だからつくった。力を貸すのではなく一緒にやるという意識が必要だ。

■連合の組織率は今や15%。350万人だった非正規社員は1450万人に。連合に対して「自分たちのためだけの運動をしている。経営者よりたちが悪い」と批判している。労組は未組織の皆さんの賃金や労働条件改善の運動を取り組むべきだ。

■福祉は公助がおぼつかない状況に。自助は限界を越えている。共に助け合う共



▲研究集会風景

助が求められているし、そこに労働団体、労協の役割がある。

■浅野元宮城県知事や元検事の堀田努さんらと「地域創造ネットワークジャパン」を発足させた。地域社会の再生化と、それぞれができることを目的にしたものだが、61のNPOが参加。シンポジウムでは、労働組合や労協は50年の歴史を持っているので歓迎する旨の発言が続いた。連合や労協はノウハウを提供するとともに、黒子に徹してNPO団体との連携を進めよう。

■労協は、これまで相談に応じてきたが、今後は話を聴いて解決するまでことにあたるという「暮らしにかかるサポートセンター」いわゆる「ワンストップサービス」事業を提起し、全国で検討が始まり、スタートさせた地域もある、と90分の時間を短く感じるほど、実り多い笹森会長の講演でした。



▲わかりやすい講演内容が大好評の笹森会長の話



▲熱心に耳を傾ける参加者の皆さん

関係団体の基盤の強化と連携強化を目的に

佐賀で労福協、連合九州ブロック、事業体が合同研修会

11月22日(水)から23日(木)にかけて佐賀で表題の合同研修会が行われました。

今回は目的として、労福協、連合九州ブロック、福祉事業団体の基盤強化と団体間の連携強化を図るため、講演を中心に行われました。

講演の一つは「安倍新政権と日本の進路」と題して、佐賀大学経済学部の平地一郎教授から行われました。安倍新政権が掲げる「美しい日本」とはなんなのか。月刊誌に掲載された安倍書



▲講演する田中尚輝氏

簡を読んだ感想は、戦後生まれでありながら、きわめて戦前であり、抽象的な国家への郷愁と祖父岸信介への思いが見られる。また経済の潮流としては、小泉政権の流れをくむ新自由主義と安倍流のナショナリズムが見られるなど、安倍政権の経済政策・陣容と、危うい進路などについて講演が行われました。

二つ目は、「ワンストップサービスの課題と展望」と題して、地域創造ネットワークジャパンの田中尚輝専務理事から講演が行われました。

田中氏はNPO関係の取りまとめや支援など、全国各地を訪問しており、そうした中から、ワンストップサービスの課題として、①地域で生活するすべての人々に、必要なサービスを提供し、そのことによって、労働組合・事業団体の社会的地位を向上させ、それぞれの成果を得る。②団塊の世代を中心と



▲講演する平地教授

した層に「生涯組合員」として連携できるように、「場」の整備を行う。このことによって、労働組合・事業団体にとってリタイヤ以降の人々とも保持できるようにすることを目的として、相談サービス・研修サービスの提供などを行い、NPOなどとの連携が必要であるなどの講演が行われました。

ふたつの講演は、現在の置かれている状況をふまえての講演であり、今後活かされるものと思います。

参加：河瀬会長、甲斐連合熊本事務局長、赤塚労金熊本本部長、松原全労済熊本本部長理事、石橋全労済熊本本部専務、梅木

勤労者の暮らしにかかるサポート事業をテーマに

沖縄で労福協南部ブロックが2006年度研究集会

11月1日(木)から2日にかけて労福協南部ブロック研究集会が沖縄で行われました。今回は中央で、「勤労者の暮らしにかかるサポート事業」の取り組みが連合・労金協会・全労済・中央労福協で進められていることもあり、目的として、2005年8月に連合、労福協、労金協会、全労済4者合意・確認の内容に基づき、都道府県では「検討の場」での論議が始まり、地域によってはワンストップサービス事業を立ち上げた県も報告されています。南部労福協では丁寧な論議と先進地視察を行って4



▲九州労金の服部専務理事

団体合意の基、スタートしていくことにしています。

この研修集会では各団体(連合本部、九州労働金庫、全労済西日本事業本部)のサポート事業に対する対応と、連合沖縄の立ち上げまでの取り組み報告を受け、意見交換を行い、また沖縄生活相談センターの視察と、事務局及びNPO団体事務局から運営状況の報告を受けながら意見交換をし、サポート事業に対する認識を深めることとしました。

まず初日に、サポート事業に対する各団体の対応についての報告を、①連合本部 組織総局長 大塚敏夫氏、②九州労働金庫 専務理事 服部道徳氏、③全労済西日本事業本部 常務執行役員 田畑龍五氏から受け、すでに取り組みを進めている沖縄から「働く人のための生活相談センター」立ち上げまでの取り組み報告として、連合沖縄の屋良宣正事務局長から受け、意見交換を行いました。



▲連合沖縄の屋良事務局長

2日目は現地の「働く人のための生活相談センター」を視察し、その後、働く人のための相談センターの運営状況の報告を、①生活相談センター事務局 安里 優氏、②NPO子どもリソースセンター沖縄代表 興座初美氏から受け意見交換を行いました。

沖縄の置かれている状況の中で、いろいろと工夫しながら取り組みが進められていることに、熊本でも取り組みを進めている「福祉のまちづくり」とダブる面もあり、参考になる研究集会でした。

参加：河瀬会長、甲斐連合熊本事務局長、浦本ユニオンラベル熊本専務、江藤熊本地区労協会長、若山天草地区労協会長、梅木

ごあいさつ

設立理念の下、頑張ります

ユニオントラベル熊本 理事長 **野嶋孝一**

この度、ユニオントラベル熊本の理事長を仰せつかりました、JAMヒラタユニオンの野嶋と申します。責任ある役職に、今、身の引き締まる思いでいっぱいです。

近年の旅行業界は、過当競争の渦中の中で、熊本県下でも非常に厳しい状況にあるということは、私どもユニオントラベル熊本も例外ではありません。

しかしながら、先代の役員、理事会、職員の皆様、そしてこれまでずっと支えていただいた会員組合・連合の皆様のお陰で、全国でも数少ない業界の労



福協団体として運営を続けさせていただいていることに、深く感謝を申し上げる次第です。ユニオントラベル熊本の設立理念でもあります「旅を通じて夢と希望を」の下、今後も会員の皆様を始め、広く社会に貢献できますよう、精いっぱい頑張らせて参ります。倍旧のご指導・ご鞭撻を、どうぞよろしくお願いいたします。

噴煙

■日本の政治や経済は、いびつな形となり歪んでいるとしか言いようがない。5年余にわたる小泉改革は、定率減税の圧縮による実質所得税のアップ、年金など社会保険料の引き上げと支給額の減、医療費のアップを実施し、特に年金生活者を直撃している。また、金利ゼロ政策によって預・貯金をしている国民に本来入ってくる利子がヒトケタとなり、この10年余で総額300兆円が金融機関のふところに入ったという。銀行などが不良債券処理に国民の血税を投入してもらったことと、利子を払わずに済んだことから、ばく大な利益をあげる結果となっている。■

一方で企業はパート、アルバイト、



派遣、請負などの労働者、いわゆる非正規社員を増大させ、人件費を縮減できたことから史上最大の利潤を上げている。非正規社員が300万人から1450万人に増えていることがそのことを実証している。また、中央省庁の天下り先である政府関連機関の予算が5兆5,300億と聞いて、無性にハラが立った。それらを隠して末端の国家公務員は5年間で5%、70万人を削減するという。■結局、弱いところにしわ寄せをおこないながら、強いものが甘い汁を吸っている。経済という言葉は「経世済民」から生まれた。民を救済するという意味なのだが、切り捨てている。いびつで歪んだ政治や経済を立て直すためには、政権交代しかない。選挙は暮らしを守る私たちの意思表示だから、必ず投票に行こう。

山口県労福協を視察研修 進んだ多くの取り組みについて学ぶ

先進的に活動されている山口県労福協活動に学ぶことを目的に、今回初めて県労福協としての視察研修を12月5日(火)～12月6日(水)にかけて行いました。

山口県労福協は、勤労者の暮らしにかかる取り組みとして「生活安心ネット」地域連携システムづくりをこの間進めており、その中では相談活動として、①職業紹介・相談、②労働なんでも相談、③福祉・生活相談などを行っており、さらに④生活応援・子育て支援「割得ガイド」事業の取り組み、⑤知的障害者自立・就労支援事業なども行っています。

また、ボランティア団体「福祉ホットラインクラブ」を1999年8月に発足させ、労働者とOBの社会貢献活動として、福祉に特化したボランティア組織として、県内4か所の「特養ホーム」



▲山口県労福協の取り組みに学ぶ熊本の皆さん「老人ホーム」でサービスを実施しており、年間1,044時間、522人が活動に参加されています。この他にも、数多くの取り組みがなされています。

今回の視察で、山口県労福協の坂根会長、加藤専務、井上生活安心ネット事務局長をはじめとする関係の皆様方には、ご多用中にもかかわらず、親切・丁寧に説明などいただき、本当にありがとうございました。

パークマンション田迎 ～平成けやき通り～

お陰様で全43戸まもなく完売です。

皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。

熊本勤労者住宅生活協同組合

No.1

ソウル

2007.1/8~4/23

熊本発

3・4日間

熊本発着だから
超ラクラク!

*旅行代金:3日間コース/フリーステイソウル/エコ/ミークラス利用/エコ/ミーホテル/2~3名1室利用(大人おひとり様)

29,800円~54,800円



出発日:2007年1月8日~4月23日

自由さまに
フリーステイソウル

充実
満喫
わくわくソウル3,4日間

3日間→毎週木・土曜日
4日間→毎週月曜日

●オプションでは…

ホリデイオリジナルバス

テ・チャングムライナー
1,000円(大人・子供同額)

デラックス
テ・チャングムライナー
5,800円(大人・子供同額)
入場料・ランチ・観光付

ホリデイ夜遊びシャトル
3,800円(大人・子供同額)
夕食付

主催:近畿日本ツーリスト

3	4	スケジュール
1	1	熊本空港→アジアナ航空→ソウル ロッテ免税店へご案内後、ホテルへ。 (ソウル泊)
2	2	(終日)自由行動 ※オプションツアーも ご利用しております。 (ソウル泊)
3	4	ホテルより空港へ。 途中、民芸品店へ立ち寄りませ す。ソウル→アジアナ航空→熊本空港

3	4	スケジュール
1	1	熊本空港→アジアナ航空→ソウル ロッテ免税店へご案内後、ホテルへ。 (夕食)本場韓国のカルビ(一人前)をどうぞ。 夕食後、にぎやかな東大門市場のナイトマーケットへ ご案内します。(ソウル泊)
2	2	(朝食)絶品アジアカピのお粥をいただきます。 ソウル市内観光。 アジア最大級の国立博物館を見学し、大統領官邸の青瓦台(車窓)、 人気の街・仁寺洞へご案内します。 (昼食)あつあつの石焼ビビンバをどうぞ。 話題のスポット清溪川&明洞を散策し、免税店と梨泰院へご案内 します。ショッピングなどをお楽しみください。 (夕食)新鮮な海の幸を使った海鮮鍋をどうぞ。(ソウル泊)
3	3	(終日)自由行動 (ソウル泊)
4	4	ホテルより空港へ。 途中、民芸品店へ立ち寄りませ す。ソウル→アジアナ航空→熊本空港

- 最小催行人員/2名
- 利用航空会社/アジアナ航空
- 食事/フリーステイ:なし
- 添乗員は同行しませんが、現地係員がご案内します。
- 利用ホテル/エコ/ミー(ブラウン、シティパレス、ベストウエスタンビジョン、リバーパークのいずれか)
スタンダード明洞地区(プリンス、ブンジョン、ニュー国際、ニューソウルのいずれか)
明洞地区・スーペリア(セジョン、プレジデント、コリアナ、ソウルロイヤルのいずれか)
明洞地区・デラックス(ミレニアムソウルヒルトン、ソウルプラザ、ロッテ本館のいずれか)

充実:満喫わくわくソウル:朝1・昼1・夕2

お問合せは…



生協 法人 ユニオンラベル熊本

TEL(096)371-2022

FAX(096)363-2866

熊本市九品寺1丁目17-9 熊本県知事登録2-34号 総合旅行業務取扱管理者 松永裕子



諸会議や研修 パーティー・宿泊に ご利用ください。

場所は九品寺1丁目
(通称 九品寺四ツ角)
消防会館や熊大病院
の近くです。

〈駐車場、身障者トイレ有り〉

財団法人

熊本県労働会館

TEL(096)362-1201

FAX(096)362-1203

編集後記

明けましておめでとうございます。
昨年は第40回通常総会、総会を記
念しての講演会、レセプション、チャ
リティーゴルフコンペ、ベトナム・カ
ンボジア海外研修、研究集会、山口
県労福協の先進労福協活動視察など、
いろいろな意味で学ぶ機会の多い
一年間となりました。

今年はこちらの集積を一つでも二
つでも熊本県労福協の活動の中に
活かしていく年にしたいものと思
います。そのために引き続きの
会員・構成員の一段のご理解とご協
力をぜひお願いいたします。

世の中、安倍政権に代わったもの
の、依然として格差社会は進行し、
公的社会保障は後退の一途です。
今こそ共助を掲げる労福協・福祉事
業団体の出番の時です。協働を通じ
労福協・福祉事業団体の存在価値
をより高めるために共に頑張りまし
ょう。(U)

あれっく訪問看護ステーション

訪問看護内容

1. 主治医の指示に基づき、健康管理をします。
2. 食事・排泄・清潔の援助
3. 医療的処置と管理
医療機器装着の方の看護
床ずれ・傷の処置・
緊急時対応
4. 主治医への連絡・調整
5. リハビリテーション
6. 認知症や精神・心理的看護
7. 終末期の看護
8. 介護者の相談

■担当地域は、車で片道30分
の距離範囲ですから、熊本市、
菊陽町、益城町、鹿島町、御
船町、城南町を対象として
います。

〒861-2105

熊本市秋津町秋田3441-20

秋津レークタウンクリニック内

☎ 096-368-6123

FAX096-368-6177

